



毎月の家庭通信・献立・保健だより等もHPでご確認いただけます

残暑が厳しかった9月でしたが、日増しに秋らしく周囲の木々も色づき始め、登園する子どもの手に握られたどんぐりや落ち葉からもその気配を感じることができます。10月は五感を全開に戸外での活動が楽しめる月です。多摩市内の公園の中には多摩丘陵の自然を生かして整備されているところも多くあります。この季節は金木犀の香りや桂の葉っぱが放つ綿菓子のような良いにおいがして視覚、嗅覚を刺激します。この時期に私がお勧めの公園は、年長組の子どもたちが行っている小山田緑地、3月のお別れ遠足の時に行っている都立桜が丘公園など、この季節にぴったりの公園です。両方とも最寄りの駅から離れているので、移動手段が制限されてしまうことが難点です。園から比較的近い所では、一本杉公園もコンパクトで池の近くには大きな桂の木があります。野鳥の観察をするには、豊ヶ丘南公園もお勧めです。また4・5歳児は鉄棒や縄跳びなど目的を持って挑戦する姿が急激に増えています。鉄棒のある公園が少なくなっています。機会があったら、お子さんの頑張っている姿を応援してあげてください。但し、練習中の子どもにとっては、あまり大人の気合のある指導が入ると委縮してしまって、やる気が半減することがあるので、ご注意ください。何事もほどほどに。

さて、2学期になり乳児から幼児クラスまで子ども達の運動量が一段と多くなって体力もついてきています。今年の冬はインフルエンザの流行とも予想されていますが、季節の良いこの時期にしっかり体を動かし体力増強と免疫力向上を目指していきましょう。

新型コロナウイルス感染症については、国の指針も方向転換されてきています。当園では保護者の方々のご協力があり、9月も感染者の増加は見られませんでした。都内の感染者数が減少してきていることを鑑み、当園では10月を区切りとして以下のように対応を変えていきます。但し感染拡大の兆しや国の指針が変更した場合には臨機応変に対応します。また感染状況を見ていますと、家庭内で感染が広がるケースが圧倒的に多くあります。引き続き家庭内で体調に不安がある場合には登園を控えて医療機関を受診していただきますようお願いいたします。

【マスク着用について】

*基本的には個人のご家庭のご判断を大事にしたいと思っていますので、以下の対応にご不安がある場合には担任にご相談ください。

現在マスク着用を求めている場面はバス内と4・5歳児給食配膳の時ですが以下のように変更します。

〇園バス内でもマスクの着用は一律に求めないこととします。〇園内でマスク着用を求めるのは、年長組の給食当番の担当者のみとします。

現在年中組の配膳時にはマスク着用を推奨していますが、コロナ前のやり方に戻し一律に求めないことにします。

【バス乗車時】

〇現在バス乗車の時には、手指消毒を行っていますが、この時期からは、乾燥して子ども達の手荒れが気になる時期ですので、消毒はしないことにします。

各ご家庭で乗車前の手洗いをお願いいたします。

*給食時の感染対策。飛沫防止・黙食は引き続き行っています。

10月のねらい

4・5歳児のねらいは9月と同じです。

<年長>

- 様々な材料や道具を使い、試したり考えたりしながら作りたい物や場を作ることの面白さや満足感を感じる。
- 自分の思いや考えを相手にわかるように伝えたり、相手の話に耳を傾けたりして、自分たちなりに考えたことを進めていくことを楽しむ。
- 様々な運動遊びに興味をもって取り組み、全身を動かして遊ぶことを楽しむ。

<年中>

- 保育者や友達と一緒に体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- 夏から秋への季節の変化に興味関心を持ち、身近な自然に触れる。
- 自分の好きな遊びをすることで友達との関わりを楽しむ。
- 様々な素材に触れながら、自分たちなりに考えたり、クラスの友達と力を合わせて作ったりすることを楽しむ。

<年少>

- 好きな遊びをし、十分に楽しさを感じる。
- 簡単な身の回りの事を自分でしようとする。
- 保育者や友達と同じ場で遊ぶことを楽しむ。
- 保育者と一緒に体を十分に動かす心地よさを感じる。
- いろいろな素材に触れ、自分なりに作って見立てたりして遊ぶことを楽しむ。

<2歳児>

- 保育者や周りの子に思いやイメージしていることを聞いてもらったり見てもらったりすることで嬉しさを感じ、伝えることを喜ぶ。
- 身近な秋の自然の中で、見たり触れたり身体を動かしたりすることを楽しむ。

<1歳児><0歳児>

0.1歳児は個別のねらいを立てています